

記入例

(宛先) 秋田市長

卸売業・小売業、飲食店・宿泊業、サービス業、教育・学習支援、金融・保険業、医療・福祉など

事業系一般廃棄物減量等計画書

発生量・再生利用量・廃棄物処理量は少数点以下第二位まで求めてください。(第三位を四捨五入)

前年4月～今年3月までの実績

事業系一般廃棄物(産業廃棄物以外)の中で粗大ごみと資源化物を除いたごみの量

対象となる事業所の名称(支店名等)と所在地を記載する

事業所名 (株)〇〇秋田〇〇店  
住 所 秋田市寺内蛭根〇丁目〇-〇  
氏 名 代表取締役 〇〇〇〇  
電 話 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

\*法人にあつては、事業所の所在地、名称及び代表者の氏名

年 月 日

事業の概要	
業 種	
事業所敷地面積	m <sup>2</sup>
事業所の延べ床面積(小売業は延べ店舗面積)	m <sup>2</sup>
従業者数 (内アルバイト・パート)	人
1日の平均来客数(学校は生徒数)	人
事業所清掃委託業者名	契約等により清掃委託業者がある場合は、記入してください。
電話( )	-
排出される廃棄物の種類	収集運搬許可業者名
事業所ごみ	(株)〇〇サービス
粗大ごみ	(株)〇〇清掃
再生資源の種類	資源回収業者名
古紙類	(株)〇〇回収センター
空き缶、空きびん、ペットボトル	(株)〇〇商店
廃棄物管理責任者 職名 総務部 管理課 課長 氏名 〇〇 〇〇	
1 ごみ減量および再利用の現況	

年 度	種 類	前 年 度 実 績				今 年 度 計 画				対 前 年 度 比		
		発生量 (A) トン	再生利用量 (B) トン	廃棄物処理量 (C) トン	再利用率 (B/A) %	発生量 (D) トン	再生利用量 (E) トン	廃棄物処理量 (F) トン	再利用率 (E/D) %	発生量 (D-A) トン	再生利用量 (E-B) トン	廃棄物処理量 (F-C) トン
	事業所ごみ (粗大・資源化物を除く)											
	粗 大 ご み											
	上 記 合 計 (資源化物以外)											
	再生利用向け 食品系廃棄物											
	金 属 類											
	空 き 缶											
	空 き び ん											
	ベ ッ ト ボ ト ル											
	源 古 紙 類											
	〇 A 用 紙											
	新 聞 チ ラ シ											
	雑 誌 雑 が み											
	ダンボール											
	紙 パ ッ ク											
	機 密 書 類											
	古 紙 類 計											
	資 源 化 物 計											
	合 計											

生ごみ等の食品廃棄物のうち再生利用(バイオガス、飼・肥料化等)された量

一般廃棄物として、熔融、破碎等の処理がされた量

一般廃棄物として秋田市に搬入されているペットボトルの量です。産廃は、記入不要です。収集運搬許可業者に確認してください。

発生量の内、古紙業者等へ引き渡した(資源化された)量

種類毎のその目標値を記入してください。目標については、ごみの中に含まれる資源化物割合、社員、テナント事業者の協力などを総合的に勘案し、現実的な設定をしてください。

一般廃棄物の分類、減量、資源化の方策など、簡潔に記入してください。フローチャート等があれば、その図を添付ください。  
例:「適正分別とリサイクルの推進強化」、「研修会の実施」等

雑がみの分別、コピー用紙の裏面使用、生ごみの水切り徹底など、今後の取組事例を記入してください。

「テナントが増えた(減った)ため」、「事業拡張(縮小)による増減」、「教育による適正分別の徹底」等増減の理由となる事項を記載してください。

2 今後の取組

3 前年度と比べ増減した理由